

美学校  
2024年度 10月期  
募集要項



美学校

Bigakko Guide 2024



## 美学校基本構想

裾野に至って現代における美意識（倫理）への介入という想定に立ちつつ

現在の美学校を全構想かつ最高形態の追求として位置づける

教えるを受けることを、みずからの意志として据えて、欲するものを得ることはありえても、

教えることをみずから意図し、果たしうるといえることはないであって、

教える意思は、生徒の脳皮質をかすめて消えるのである。

総じて耳目を通し、すなわち空間を媒介として、達して頭脳にいたるコースにおいてそうなので、

脳皮質を駁撃して残るのはきわめて生理的な衝撃感ということだけであつたり、

あるいは、金時絵に使う筆は舟ねずみの毛で作らなければいけない

といったことだけで終わるのである。

そこで、教えられる機関は考えるとしても、教える機関は考えるわけにはいかぬ。

そこで、最高の教育とは、教える意志をもたぬものから、

必要なものを盗ませるといふことになるうか。

**美学校**  
**1969 - 2024**

# 第56期2024年度生徒募集にあたって

美学校は1969年に現代思潮社という出版社によって設立されました。設立された背景には、既存の学校教育に対するアンチテーゼがあったそうです。あったそうですと伝聞形で書くのは、開校から50年を経たことによる人的、時代的な断絶があるからです。そして、それに伴って美学校も別の運動体へと変化してきました。

わたしたちは美学校をいわゆる「学校」という静的なものではなく、有機的な運動体として捉えています。ここでは美術や音楽を中心とした様々な教程を開講していますが、そこは技術や知識を体験的に身につける場であると同時に、様々な出会いや実験が起こり、そして自由と自治が存在する場にしたいと思っています。自由と自治というと難しく聞こえるかもしれませんが、自分たちが美術や音楽を通して勝手気ままに楽しむための場所を作りたいということです。自分が楽しむということは、興味を持って楽しめる何かを発見するということです。そして、その興味が他者や社会へと繋がることによって、世界が広がっていくのだと思います。それはわたしたちが50年以上に渡って歩んできた道でもあります。

受講にあたっては、ただ絵を描きたい、音楽を学びたいといった理由で充分です。その気持ちが大切だと思います。経験や年齢は誰も気にしませんので、勇気を持って飛び込んでください。初めてここを訪れる人はきっと美学校を変わった場所だと思うことでしょう。それは校舎が築50年以上の古いテナントビルのワンフロアであったり、古本やチラシや何だかよくわからない物であまりにも雑然としていたり、フランクな講師やスタッフがいたりするからかもしれません。ですが、そんな光景も見慣れてしまえば、特別なものではなくなります。学校では、あれをしてはいけない、これをしてはいけないと言われてきたと思いますが、本当にしてはいけないことなんてそうないはず。ここは自由です。

教程は5月から始まり翌年の3月で終わります。この一年は長いようで短いです。美学校での一年間をどう過ごすか。それはあなたの想像力と行動次第です。みなさんや講師はもちろん、関係する様々な人々、そしてわたしたち自身にとって、これからが面白くなるようわたしたちは尽力します。

# 2024年度10月期教程（2024年10月～2025年3月）

9教程の中から複数教程の受講も、1教程のみの受講も可能です。

10月期募集教程は5月より開講している通年教程への編入となります。

## 〈絵画〉

- 造形基礎Ⅰ
- 細密画教場
- 生涯ドロ잉セミナー
- 超・日本画ゼミ
- ペインティング講座
- テクニック&ピクニック

## 〈版画／写真〉

- 銅版画工房
- 版表現験工房（銅版画）
- シルクスクリーン工房
- 石版画（リトグラフ）工房
- 写真工房

## 〈現代美術〉

- アートのレシピ
- 芸術漂流教室
- アンビカミング：シャドーフェミニズムズ  
の芸術実践（対面、オンライン）※1
- ビジュアル・コミュニケーション・ラボ
- 未来美術専門学校
- 現代アートの勝手口
- サウンドアート・入門と実践（オンライン／対面）

## 〈様々な分野〉

- 実作講座「演劇 似て非なるもの」
- アートに何ができるのか
- モード研究室～基礎から学ぶ服作り～
- 特殊漫画家 - 前衛の道
- 意志を強くする時
- 建築大爆発

- 自分を越えた作品を計画的につくる方法と発表の  
実践

- POP ILLUSTRATION 塾

- 劇のやめ方

## 〈作曲／作詞〉

- 楽理基礎科中等科（オンライン／対面）
- 楽理中等科（オンライン／対面）
- 作曲演習（オンライン）
- 歌う言葉、歌われる文字（オンライン／対面）
- 実践！自己プロデュースと作品づくり（オンライン）

## 〈DTM〉

- 魁！打ち込み道場（オンライン）
- アレンジ&ミックス・クリニック（オンライン）

## 〈研究室〉

- 美楽塾
- ライター講座（オンライン／対面）
- 世界のリズムとグルーヴ研究  
（オンライン／対面）

※1 対面とオンラインで回ごとに交互に開催します。対面のみ、もしくはオンラインのみの参加はできません。

# 2024 年度 時間割

	13:00 ~ 17:00, 他	18:30 ~ 21:30, 19:00 ~ 22:00, 19:00 ~ 21:30, 他
月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルクスクリーン工房</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術漂流教室</li> <li>・テクニク&amp;ピクニック</li> <li>・ライター講座</li> <li>・世界のリズムとグルーブ研究</li> </ul>
火	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石版画（リトグラフ）工房</li> <li>・ビジュアル・コミュニケーション・ラボ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンビカミング： シャドーフェミニズムズの芸術実践</li> <li>・アートに何ができるのか</li> <li>・特殊漫画家 - 前衛の道</li> <li>・POP ILLUSTRATION 塾</li> <li>・魁！打ち込み道場</li> <li>・劇のやめ方</li> </ul>
水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意志を強くする時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細密画教場</li> <li>・版表現実験工房</li> <li>・楽理基礎科</li> <li>・楽理中等科</li> <li>・作曲演習</li> </ul>
木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銅版画工房</li> <li>・ペインティング講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯ドローイングセミナー</li> <li>・ペインティング講座</li> <li>・実践！自己プロデュースと作品づくり</li> <li>・アレンジ&amp;ミックス・クリニック</li> <li>・美楽塾</li> </ul>
金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真工房</li> <li>・自分を越えた作品を計画的につくる 方法と発表の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実作講座「演劇 似て非なるもの」</li> <li>・現代アートの勝手口</li> <li>・歌う言葉、歌われる文字</li> </ul>
土	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形基礎 I</li> <li>・アートのレシピ</li> <li>・建築大爆発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超・日本画ゼミ</li> <li>・モード研究室</li> </ul>
日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超・日本画ゼミ</li> <li>・サウンドアート・入門と実践</li> </ul>	

# 入学案内

2024年度10月期教程の受講を希望される方は、入学規定をお読みになってから以下の手順で入学手続きを行ってください。（オープン講座は、入学手続きは不要です。WEBサイトの講座ページより直接お申込みください。）

## 入学手続きの手順

### 1、申込み

当校WEBサイトの受講申込みフォームに必要事項を入力して送信してください。

担当者から学費のお支払いについてのご案内をお送りします。

#### ※書類での申込み

書類での申込みも可能です。希望される方には申込書（入校志望書）を郵送いたしますので、事務局にお問合せください。

申込書（入校志望書）は郵送または持参にて提出してください。

受講申込みフォーム  
QRコード



### 2、学費・教程維持費の納入

担当者からのご案内の送付後一週間以内に学費・教程維持費を納入してください。学費・教程維持費の納入をもって入学手続き完了となります。複数教程の受講などで納入額が不明な場合は事務局にお尋ねください。

### 3、手続き完了後から受講までの流れ

編入の初回授業日は10月初旬～中旬となります。手続き完了後にメールにて授業日と持ち物のご連絡を差上げます。郵便での連絡を希望する方は、お申込み時にお伝えください。

## 入学手続き締切り

**2024年度10月期 一次締切り 2024年9月30日（月）**

※一次締切りの時点で定員に達していない教程は、追加募集をする場合があります。

※学期が始まってから受講を希望する場合は、事務局にお問い合わせください。教程によっては受け入れ可能な場合がございます。その場合、時期、学費などご相談に応じます。

## 入校志望書の提出先・学費の納付先

#### 《提出先・納付先》

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-20 第2 富士ビル3F 美学校 本校 事務局

#### 《振込み口座》

三菱UFJ銀行 神保町支店（普通）2330142 有限会社美学校 [ユ] ビガツコウ

# 入学規定

## 資格

各教程のカリキュラムに指示するもの以外、学歴・年齢・性別その他の制限はありません。

## 期間

授業は10月から翌年3月までの定められた日程に行われますが、その間原則として、12月25日から1月5日まで休みとなります。

## 入学手続き

入校志望書の提出、あるいは受講申込みフォームからの申込みと学費・教程維持費の納入をもって入学手続きとします。申込みは先着順で受け付け、各教程の定員に達し次第募集を締め切ります。入学手続きをもって本規定に同意したものとします。

## 定員

各教程の定員はカリキュラムに明示します。ただし、申込者数が最小開講人数に達しない時は開講しない場合があります。

## 学費および教程維持費

### ・構成

学費は、授業料、設備費によって構成されます。学費の他に教程維持費がかかります。

### ・納入方法

学費・教程維持費は、現金、銀行振込、クレジットカード（VISA、MASTER）のいずれかにて、全額を一括でお支払いください。

### ・割引

過去に在籍記録のある方、二年目以降の受講者は、学費の割引が適用されます。

### ・返金

一旦納入された学費および教程維持費は以下の場合を除きご返金はいたしません。

- ・定員超過によって受講ができなかった場合
- ・申込み教程が最小開講人数に達せず開講しなかった場合
- ・講師の急病等の理由により開講が困難となった場合

※病気や転勤などのやむを得ない事情により受講をやめる場合は、医師による診断書や勤務先の辞令等の提示があれば、残り授業回数の80%の学費をご返金いたします。

※オープン講座は異なります。当校WEBサイトの「特定商取引法に基づく表記」ページをご参照ください。

### ・分納

分納を希望する方は、事前に事務局にご相談ください。分納は原則的にクレジットカードによるお支払いのみとなります。クレジットカードのお支払いは一括のみの対応です。ご自身でお支払い方法を分割もしくはリボ払いに設定していただくことにより、分割払いが可能となります。学生の方でクレジットカードの限度額が足りない方は、別途ご相談ください。

## 在籍証明

教程の3分の1以上を欠席した生徒は、本校に在籍したことを認めない場合があります。

## 注意事項

申込み内容に虚偽があった場合は入学資格を取り消すことがあります。自己の入学資格および在籍資格を他人に譲ることはいかなる場合も認めません。本校に不利をおよぼし、あるいは、みだりに授業を妨害するなどの行為をした生徒は、本校の指示により除籍される場合があります。

# 学 費 2024年度10月期（2024年10月～2025年3月）

学費は、授業料、設備費によって構成されます。学費総計の他に教程維持費がかかります。教程維持費（税込）は各教程のページに記載してあります。過去に在籍記録のある方、二年目以降の受講者は、学費の割引が適用されます。

●1教程を受講する場合は次の学費となります。

教程名		授業料	設備費	学費総計（内、消費税）
A 教程	造形基礎Ⅰ	180,900	5,000	185,900（16,900）
	細密画教場	180,900	5,000	185,900（16,900）
	銅版画工房	181,400	10,000	191,400（17,400）
	版表現実験工房（銅版画）	181,400	10,000	191,400（17,400）
	アートのレシピ	180,900	5,000	185,900（16,900）
	芸術漂流教室	180,900	5,000	185,900（16,900）
	生涯ドローイングセミナー	募集なし	募集なし	募集なし
	超・日本画ゼミ	募集なし	募集なし	募集なし
	ペインティング講座	募集なし	募集なし	募集なし
	テクニク＆ピクニック	募集なし	募集なし	募集なし
	シルクスクリーン工房	募集なし	募集なし	募集なし
	石版画（リトグラフ）工房	募集なし	募集なし	募集なし
	写真工房	募集なし	募集なし	募集なし
	ビジュアル・コミュニケーション・ラボ	募集なし	募集なし	募集なし
	未来美術専門学校	募集なし	募集なし	募集なし
	現代アートの勝手口	募集なし	募集なし	募集なし
	モード研究室	募集なし	募集なし	募集なし
	建築大爆発	募集なし	募集なし	募集なし
B 教程	アンビカミング：シャドーフェミニズムズの芸術実践	90,700	5,000	95,700（8,700）
	アートに何ができるのか	90,700	5,000	95,700（8,700）
	楽理基礎科	募集なし	募集なし	募集なし
	楽理中等科	募集なし	募集なし	募集なし
	作曲演習	募集なし	募集なし	募集なし
	実践！自己プロデュースと作品づくり	募集なし	募集なし	募集なし
	魁！打ち込み道場	募集なし	募集なし	募集なし
	アレンジ＆ミックス・クリニック	募集なし	募集なし	募集なし
	特殊漫画家 - 前衛の道	募集なし	募集なし	募集なし
	自分を越えた作品を計画的につくる方法と発表の実践	募集なし	募集なし	募集なし
	POP ILLUSTRATION 塾	募集なし	募集なし	募集なし
	美楽塾	募集なし	募集なし	募集なし
	ライター講座	募集なし	募集なし	募集なし
	世界のリズムとグルーブ研究	募集なし	募集なし	募集なし
劇のやめ方	募集なし	募集なし	募集なし	
C	実作講座「演劇 似て非なるもの」	155,600	5,000	160,600（14,600）



D 教程	歌う言葉、歌われる文字	募集なし	募集なし	募集なし
	意志を強くする時	募集なし	募集なし	募集なし
	サウンドアート・入門と実践	募集なし	募集なし	募集なし

- 2教程を受講する場合は以下の学費となります。
- 3教程以上の受講を希望する場合は事務局までお問い合わせください。

教程分類	授業料	設備費	学費総計（内、消費税）
A教程＋A教程	240,800	10,000	250,800（22,800）
A教程＋B教程	240,800	10,000	250,800（22,800）
A教程＋C教程	240,800	10,000	250,800（22,800）
B教程＋B教程	155,000	10,000	165,000（15,000）
B教程＋C教程	240,800	10,000	250,800（22,800）

※教程維持費は各教程ごとにかかります。教程維持費は各教程のページに記載してあります。

- 過去に在籍記録のある方、二年目以降の受講者は、下記の通り学費の割引が適用されます。

教程分類	学費総計 → 割引後学費総計（内、消費税）
A教程	185,900 → 156,200（14,200）
	191,400 → 161,700（14,700）
B教程	90,700 → 80,300（7,300）
C教程	155,600 → 135,300（12,300）
A教程＋A教程	250,800 → 215,600（19,600）
A教程＋B教程	250,800 → 215,600（19,600）
A教程＋C教程	250,800 → 215,600（19,600）
B教程＋B教程	165,000 → 155,100（14,100）
B教程＋C教程	250,800 → 215,600（19,600）

※教程維持費は各教程ごとにかかります。教程維持費は各教程のページに記載してあります。

※教程維持費の割引はありません。

# オンライン教程の使用ツールとガイドライン

## オンライン教程の使用ツールについて

全てのオンライン教程に共通して授業では主に以下の2つのツールを使用します。

**ZOOM** —— 授業プラットフォームです。アプリ版の使用を推奨しますが、ブラウザからの参加も可能です。

**Discord** —— 授業補助として利用するチャットツールです。各教程ごとにクローズドのグループを作成し、そちらで毎回の授業リンクをご案内します。そのほか課題提出、コミュニケーション等のプラットフォームとして使用します。

## オンライン教程についてのガイドライン

当校ではオンライン教程の開講にあたって、受講生のプライバシーや個人情報の保護に配慮し、以下のガイドラインを定めています。受講に際しては、下記をご了承のうえお申し込みください。

### 1) プライバシーと個人情報に関して

- ・授業中の顔出しは任意です。プライバシーが気になる方はカメラをオフにしてご参加ください。
- ・学習目的以外の ZOOM 画面や Discord、講師による共有画面のスクリーンショットはお控えください。
- ・学習目的で講師画面や板書をスクリーンショットする際は、他の受講生が写り込まないよう配慮ください。
- ・スクリーンショット画像の第三者への譲渡や開示、SNS への投稿などは固く禁じます。
- ・Discord 上で行われたやり取りに関して、特に個人情報を含むものは第三者への開示、SNS への投稿などはご遠慮ください。ただし、個人的な感想や意見等についてはその限りではありません。
- ・授業画面のスクリーンショットなどを広報に利用させて頂く場合があります。その際は原則として受講生の画像・画面にはモザイク・ぼかし処理を行い、個人が特定されない形で使用いたします。
- ・Discord 上でのダイレクトメッセージなど受講生同士による個々のやり取りは良識の範囲内で行ってください。他受講生への迷惑行為が確認された場合は即座に Discord の利用を停止いたします。
- ・必要に応じて受講生に授業内容のアーカイブ動画を提供します。アーカイブ動画の第三者への譲渡や開示、SNS や動画サイト等への投稿を行うことはありません。また、同行為を固く禁じます。なお、アーカイブ動画提供の有無については教程ごとに異なります。詳しくは個別の教程ページをご確認ください。

### 2) 課題作品や配布物について

- ・課題作品は Discord 上の指定されたチャンネルに提出いただき、受講生全員で共有されます。
- ・授業で用いる教材も同様に Discord 上にて配布します。
- ・提出された受講生作品や配布物の第三者への開示、SNS への投稿等は固く禁じます。
- ・提出された受講生作品の権利は作者に帰属します。提出された他受講生の作品を参照したり、リミックス等で二次的に使用する際は、お互いに承諾を取り、作品へ敬意を持ってお取り扱いください。

### 3) セキュリティについて

- ・ZOOM の授業リンクは都度生成し、パスワード保護されます。参加にはスタッフの認証を設けていますので、第三者が無断で入室することはありません。ただし、複数の事務局スタッフが立会いのため予告なく参加する場合があります。
- ・セキュリティ向上のため、ZOOM は最新版をインストールするようにしてください。
- ・Discord グループは受講生と講師、スタッフのみ参加を許可されます。第三者が無断で参加することはありません。
- ・主に Windows 環境において Discord にマルウェア感染被害が報告されています。対策としてアプリケーションの再インストール、或いはアプリをインストールせず、web ブラウザから仮アカウントを用いて使用頂くことで対応が可能です。事前に対策をご確認の上、ご了承の上受講いただけますようお願いいたします。

### 4) オンライン授業の見学について

- ・本校では受講を検討されている方の授業見学を随時行っており、オンライン授業も同様に見学が可能です。そのため、受講中の授業に見学者が参加する可能性があります。見学者にも受講生と同様に講座を体験していただくため、授業内で配布した資料や受講生の提出作品などは同様に見学者にも閲覧や視聴が許可され、必要に応じてデータが譲渡されます。
- ・見学者による授業内で配布された教材や作品の第三者への開示、SNS への投稿等は固く禁じます。場合によってはデータの破棄にご協力ください。

## 説明会 / 見学・受講相談

### 説明会

下記の日程で募集教程の説明会を開催します。受講方法や各講座についての説明に加えて校舎案内を行います。説明会後には個別の入学相談も可能です。各回 90 分程度 / 定員 8 名。会場は本校です。

参加をご希望の方は QR コードからか、メールか電話にてお申し込みください。

- ・ 9月3日（火） 19:00 ～
- ・ 9月14日（土） 19:00 ～

説明会 申込み QR コード



### 見学・受講相談

授業見学および受講相談は随時受け付けております。

学校の雰囲気、講座の内容から、どの講座が合っているかなどの個人的なご相談まで、受講をご検討中の方もそうでない方も、お気軽にお越しください。

ご希望の方は QR コードからお申し込みになるか、メールか電話にて希望日をお問い合わせください。

受講相談はオンライン（ZOOM）でも可能です。

見学・受講相談 申込み QR コード



# 造形基礎Ⅰ

鍋田庸男

定員：12名

授業日：毎週土曜日 13:00～17:00

教程維持費：6,600円（通額）

開催教室：本校 3F

造形基礎とは、形（カタチ）を造る基（モト）という意味です。

形＝カタチとは「表わされ、現れたもの」すなわち表現されたモノです。

一枚の葉っぱを手に持ちます。目で、指先で、肌で、それぞれの記憶と、経験と、知識で、テーマは個々のうちにあつて、無数のカタチをひきだすことが可能でしょう。見て、掴んで、感じて、思索する。表現するということは「カラダまるごと」のことです。

表現とは「もっと、いろいろなこと」であっていい。

ここではまず木炭で描くことから始めます。

上手に描くことではありません。モノ(事)と対峙し、観察し、考察し、記録することです。表現とは、技術ではありません。技倆は、自らの表現と共に成長するものです。まずはじめに大切なことは、技術や描き方ではなく、対象への接し方であり、対象との交流とその共有を楽しむことです。

ボクサーは、はじめに、なわ跳びを繰り返して行います。より強靱な精神、より柔軟な体、的確なパフォーマンスは、そのうえに築きあげられるものです。

対象へのひとつひとつのアプローチの繰り返しのなかから、より自由で、真に独創的な自分のカタチを求めて、表現者としての、最初の意志と体力を、見つけ出し確立してもらいたいのです。

私達が表わす「カタチ」は未知なるものへの冒険です。

やればやるほど、本気になればなるほどオモロイもんです。

今。私達が「やること」は、いっぱいあります。

鍋田庸男

## 授業内容

- 表現現場に身をおくこと
- 課題をその場で制作する
- 速描画＝短時間にたくさんのドローイング

精神集中、習性の確認と放棄、手の訓練、頭の柔軟体操とオートマティズム

### 【前期】

◆植物・静物・人体による観・考・描察画  
モノを見て触れて表現者としての最初の自覚をうながす

### 【中期】

- ◆色・形・素材そして対象と表現について
- ◆モチーフそれ自身の設定（表現）  
「描く」という行為から「つくる」という表現へ
- ◆切る・貼る（色紙その他）立体もしくはレリーフ

### 【後期】

- ◆自由制作  
ロールペインティング＝つづき絵（絵巻物）の制作

造形基礎Ⅱは「ものづくり」への構想をもって活動します。



講座WEBページ  
インタビューやレポートなどを  
掲載しています

# 細密画教場

田嶋徹

定員：6名

授業日：毎週水曜日 18:30～21:30

教程維持費：6,600円（通額）

開催教室：本校 3F

この教場を受講する人の中には、自然科学分野のイラストレーション、例えば植物画、昆虫標本画、動物生態画、古代生物（恐竜等）の復元画などを志す人、それからリアルなイラスト、絵画を志す人、もっと漠然と絵が上手になりたい人などがいます。（上手な絵＝見えたとおりに描かれた絵と考えるからでしょう。）

どの細密画を目指すにしても、基礎デッサン＝正確なパースと明暗のグラデーションを描く技術＝が必要です。その技術を土台に更に目と描写力の限界を追求するのが私が考える細密画です。

これが細密画と定義された絵のジャンルはありません。細かく密に描かれた絵のこと全般を呼び習わす言い方です。描いた人見た人が細かく密だと感じればそれは細密画で、描き手の思い描く幾通りの細密画があって良いわけです。しかしながら恣意的な主観で描くといわゆる「上手く」は描けません。「上手い」には「誰が見ても」という含みがあるので、人がものを見る時の共通した機構に基づいた絵がそうみなされるのです。「目と描写の限界を探る細密画」はそのメカニズムを土台に更にその先を追求するのですが、基礎デッサンの土台が無いとすぐに行き詰まってしまって先に分け入って行くことが出来ません。形が正確に取れるとその限界値を描く度毎にどんどん更新して行く体感を味わえます。言わば恣意性を徹底して排した客観描写ですが、にも関わらずその絵にはあなたのガラが現れます。その経験とあなた自身も初めて見るであろうあなたの「柄」は、その後のあなたなりの「幾通りの細密画」の基になるでしょう。

細密画を描いてみたいけれど基礎デッサンの経験が無いという人に向け「細密画のための基礎デッサン講座」（毎週木曜日 18:30～21:30）を設けます。細密画教場受講者は追加料金無しで受講できます。どちらの講座も1～2回の見学・体験が可能ですので受講を検討される方にはまずは体験をおすすめしています。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

私の普段の仕事はこちらを見てください。

<https://twitter.com/tajimaminiature>

<https://www.instagram.com/tajimaminiature/>

田嶋徹

## 授業内容

### 下書き

- ・モチーフをどの大きさと描くか、から始めて細部いたるまで、フリーハンドでかたちをとる技術
- ・道具を使ってモチーフを計測して描く技術

### 鉛筆

- ・明暗の階層表現、質感表現の技術

### 水彩

- ・色調表現、質感表現の技術

### その他

- ・平面画像の模写
- ・不透明絵具の描法

### 【生徒持ち用具・材料】

鉛筆各種・カッターナイフ・芯研ぎ器・練りゴム・消しゴム・羽ぼうき・スケール定規・比例ディバイダー・トレーシングペーパー・カーボン紙・ケント紙・固形透明水彩絵の具各色・コリンスキー筆・ベニヤ板・水張りテープ・刷毛・アルシュ紙極細目・筆洗い器・梅皿  
その他



講座WEBページ  
インタビューやレポートなどを  
掲載しています

# 銅版画工房

上原修一

定員：10名

授業日：毎週木曜日 13:00～17:00

教程維持費：12,100円（通額）

開催教室：本校 3F

銅版画という方法を使った「絵」を制作します。

銅版画の特徴として、ひとつは凹版画であることがあげられます。

もうひとつは、ほかの版種と同様に「版」を用いた間接表現であることです。約1ミリの厚さを持った銅の板の表面に、何らかの技法で点や線を刻みつけます。

制作者のイメージや意図に基づいて点や線が刻みつけられた瞬間に、銅の板は「版」に変わる。その、点や線（凹部）に銅版画用インクを詰め、紙に絵柄を刷り取ります。

大切なのは、いかに美しい版を作るかではなく、その版を通して刷り上げられたもの（つまりは作品ですが）が「表現」になっているかどうかということです。

直接描いたのでは決して得られない点や線、あるいはマチエールを生み出す力を銅版画は持っています。

あくまでも基本的な銅版画の技法に拘りながら、さらにその可能性について考えていきます。

授業の前半期では、ドライポイント、エッチング、アクワチントといった銅版画の基本技法と、インクの詰め、拭き、修正、プレス機の取り扱いなど、刷りの基本技術とを学びます。なるべく早い時期に、工房での自習が出来るスタンスを確立します。

後半期は、ディープ・エッチング、ソフトグラウンド、写真製版、コラグラフなどの版作りの応用技法と、多色刷り、雁皮刷りなど様々な刷り方について学びます。多様な銅版画のテクニックを、体験則としてひと通り知って貰うためのプログラムを展開します。

ときどき合評会もやります。けれど、課題のようなものを求めることは一切しません。

作りたい人の作りたい気持ちを最優先に実現できる、本当の意味での自由な工房を目指しています。

受講生同士はもちろん、受講生と講師も、忌憚なくお互いを評価、批評し合える関係でありたいと思います。

確信的なものでも、あるいは全く漠然としたものでも構いませんが、銅版画に対する憧れを持った人の受講を望みます。ここは一度嵌まったらとにかくなかなか深い場所です。

上原修一



クラウン

エッチング、アクワチント、ドライポイント、コラグラフ  
558mm × 450mm  
ed.12, ap.3 2版2色刷り サマセット紙



テーブルの下の私の荷物

エッチング、アクワチント、ディープ・エッチング、ソフトグラウンド、コラグラフ  
725mm × 593mm  
ed.2, a.p.なし 17版2色刷り 雁皮漉き合わせ紙



講座WEBページ  
インタビューやレポートなどを  
掲載しています

# 版表現実験工房（銅版画）

清野耕一

定員：10名  
授業日：毎週水曜日 18:30～21:30  
教程維持費：12,100円（通額）  
開催教室：本校3F

銅版画（凹版）の制作は、薄い銅版表面で繰り広げるマイナスの作業といえます。直接鋭利なニードルで引掻いたり、強酸の力で腐食（エッチング）したり、様々な薬品や道具を使い随分と手荒なプロセスを踏みます。このように出来上がる銅版の原版は、その凹部に詰められたインクとエッチング・プレス機の物凄い圧力によって、最終的に紙の表面に反転しプリントされます。……この瞬間、皆さんは銅版画の表現効果に魅了されるでしょう。鋭く自在な線、微妙で繊細な濃淡面、重厚な質感。

……その転写されるイメージは、ドローイングやペインティングと全く異なるからです。

世界的なIT化とグローバル化が急速に進む中で、私達の日常生活にも「デジタル・カルチャー」が浸透し大変化をもたらしています。「効率化・便利さ」を追求する社会的なうねりは、一方で機械に頼りながら、汚れ仕事を嫌い、面倒くさいことを避ける行動を私達に植え付けていると云えるかもしれません。「自らの手を使い、身体を動かし、汗を流し悪戦苦闘する姿勢」を拒む風潮の中で、大切な何か失われようとしていないでしょうか。

「版表現実験工房」は、そんな問いに対応しながら、初心者のみならず、銅版画や他版種の経験者にも門戸を広げる場です。銅版画制作のための技術力を習得するだけでなく、直接銅版と触れ会うことによってモノ作り本来の楽しさを体験し、美術表現を創造する「発見」の場を目指します。同時に、絶え間ない地道な制作を通じて「自己を見つめる姿勢を培うこと」に重点を置きたいと考えています。

従来の「オリジナル版画」（平面・複数性を土台とする版画表現）の垣根を取り払い、柔軟に他のメディアとの交差を図り、新たな表現スタイルを研究し模索する実験的な制作現場になることを目標とします。この工房の参加者は、より積極的な制作意欲と発表の機会設定が求められます。

参加者の年代・経験・背景を超えて「互いが刺激・影響し合える制作現場」になることを期待します。

清野耕一

## 授業内容

### 【前期】

彫刻技法の基礎研究と制作（ドライポイント・メゾチント）

腐蝕技法の基礎研究と制作（エッチング・アクアチント）

☆前期講習会

### 【中期】

腐蝕技法の応用研究と制作（リフトグラウンド・ソフトグラウンド）

刷り技法の応用研究と制作（雁皮刷り・凹凸版刷り・多色刷り）

☆中期講習会

### 【後期】

写真製版技法の研究と制作（フォトエッチング）

併用技法による自由制作

☆後期講習会

### 【研究課題】

- A) 複数性と間接性
- B) 版の表面性と被写体
- C) 3次元の平面構成
- D) メディア・ミックス

### 【生徒持ち道具・材料】

銅版・版画用紙・ニードル・スクレップ  
パー・バニツシャー・作業着・腐蝕用  
ゴム手袋 他



講座WEBページ  
インタビューやレポートなどを  
掲載しています

# アートのレシピ

## ～松蔭浩之のラディカル・ヒストリー・アワー

### 松蔭浩之＋三田村光土里

定員：12名  
授業日：毎週土曜日 13:00～17:00  
教程維持費：6,600円（通額）  
開催教室：本校3F

せっかくだから、ちょっと変わったことを言っておこうと思います。いや、そもそもこの「変わったこと」について思いを巡らせること、人のやっていないことを考えだして、ひねりだして形にすることこそがARTの真髄なんで……その、「変わったこと」ですから、最初は全くもって理解不能かも知れず、あなたの普段の価値観とか常識とか正義感とか人生設計とかとはけっこうズレたりしているかもしれない。けれども、気持ち次第では実に面白可笑しい人、作品、出来事、あなたのきつと知らない古今東西の本物の変わりモノを紹介しつつ、やはり「変わった」考え方、見方、とらえ方をすることで、新しい刺激的な経験になりうるというお話を長い間続けていきます。

例えば、100年ちょっと前になりますが、ヨーロッパで起こった反芸術活動『DADA』と、1960年代に日本で制作放送された子ども向けテレビ番組『ウルトラマン』との関連を考察し、「怪獣」を解剖してみるとか、'80年代初頭に全世界的に突然変異のように起こった、DIY精神に満ちあふれたロックバンドやミュージシャンたちの奇跡から学ぶとか、私が19歳から3年間師事した森村泰昌はじめ、先人たちから培って確立した「私の写真論」をもとにセルフポートレイトを実践する……など、松蔭浩之の自分史における、ラディカルな事象を吟味検証して紹介、流行り廃りに左右されない普遍性の探求、その追体験と伝承、すなわち、ラディカル・ヒストリー・アワーを共有することが、この講座最大の特徴です。

この『レシピ』では、俗にいう「現代アート」に限らず、音楽、映画、サブカルもアングラも含めた文化全般を視野に入れた講義、ワークショップを実施します。かならずしもアーティストを養成することが目的ではないですが、節々でアートの実践を体験してもらうことで、クリエイティビティー（＝創意工夫）の本質を知ることを目指します。

不定期に開催の「三田村光土里のときどきアートサロン」では、三田村光土里が豊富な経験とインスピレーションで、制作のお悩みをコンサルティングします。

変わったことが好きではない。もしくは、変わることを恐れる方にはおススメできませんが、好奇心おう盛で柔軟な思考性を持つあなたには最適の講座になることでしょう。

#### 松蔭浩之（まつかげひろゆき）

現代美術家、写真家。福岡県出身。  
1988年大阪芸術大学写真学科卒業。

1990年アートユニット「コンプレッソ・プラスティコ」でベネチア・ビエンナーレに世界最年少で選出される。以後、数多くの国内外個展やグループショー、シンガポール・ビエンナーレ（2006年）ほか国際芸術祭に参加。写真作品を中心にインスタレーション、パフォーマンス、ミュージシャン、執筆、グラフィックデザイン、俳優、映画監督など多岐に渡って活動を続ける。アートグループ「昭和40年会」（1994年結成。現メンバーは会田誠、有馬純寿、小沢剛、大岩オスカル、バルコキノシタ、松蔭浩之の6人）では会長を務める。

宇治野宗輝とのロックデュオ「ゴージャラス」（1997年結成）では国内外でのライブを盛んに行った。また、2016年再始動したポストインダストリアルグループ「PBC」（1987年結成）でも演奏活動も続ける。俳優としては金子雅和監督『アルビノの木』など数々の作品に出演。監督作品は、画家の会田誠を主演に起用した『砂山』（2012）、若林美保主演の『LION』（2018）がある。

#### 三田村光土里（みたむらみどり）

愛知県生まれ 東京在住

「人が足を踏み入れられるドラマ」をテーマに、写真や映像、言葉や日用品などの多様なメディアで構成した空間作品を国内外で発表。私的な追憶から浮かび上がる不在感が、日常の哀愁や感傷を観る人の内側に投影する。

世界各地で人々と朝食を共にする滞在制作「Art & Breakfast」では、フィールドワークで集めた材料でインスタレーションを作り続け、文化的境界を越えて共感する価値観をユーモアと批評的な眼差しで俯瞰する。

2003年、日本の新進作家展・vol.2（東京都写真美術館）。

2005年、文化庁新進芸術家海外派遣（フィンランド三都市巡回個展）。2006年、ウィーン分離派館・セッションにて個展。2011年、二国間交流事業プログラム派遣（メルボルン、オーストラリア）、あいちトリエンナーレ2016。2017年、ウィーン美術アカデミー 滞在招聘作家。2019年、Japan Unlimited 展（ミュージアム・クォーター・ウィーン）、他多数。



講座WEBページ  
インタビューやレポートなどを  
掲載しています

松蔭浩之



# 芸術漂流教室

倉重迅＋田中偉一郎＋岡田裕子

定員：9名

授業日：毎週月曜日 19:00～22:00

教程維持費：6,600円（通額）

開催教室：本校3F

「芸術漂流教室」は、倉重迅、田中偉一郎、岡田裕子を中心に、ゲスト講師も招きながら展開していきます。3種の異なる講座で構成されるこの教室は、一粒で3度おいしく、3倍以上の楽しみ方があるはず。現代美術の領域で活動しながら他ジャンルにも軸足を持つ、無駄に経験値の高い講師陣とともに「楽しく」「真面目に」漂流しましょう。

## ArtLife Hacks (ALH) 講師＝倉重迅

アートを通じて人生のクオリティを高める講座です。アートは決して美大卒やフルタイムアーティストだけのものではありません。考える、議論する、制作する、発表することなどを通して自分自身とアートとの最適な付き合い方や距離感などを見つけ、各々の人生にフィードバックすることができたら、と思います。私自身は映像畑の人間ですが、映像制作やワークショップはもとより、インスタレーションや立体作品などジャンルを問わず扱っていきます。

## 芸術小ネタ100連発小屋 講師＝田中偉一郎

強い作品づくりの発想をひろげるための講座です。発想の定番から、自由度の高い制作法などを、講義や実践、大喜利形式で進め、ときには3時間で制作も行います。多くの作家は、役に立たないプロセスやくだらない考えを、作品からなくそうとします。しかし、良い作品の良い青臭さやおもしろいやりすぎ感、圧倒的な存在感は、意外とそんなところから生まれたりするものです。発想の仕方がわからない人、アイデアはあるけどうまく形にできない人、ものづくりに行き詰まっている人、ただなんとなく刺激が欲しい人が、気楽にでも、熱意を持ってでも参加できる、「でまかせ」を実行する世界で唯一の芸術講座です。

## ヒロコセンセイの芸術相談教室 講師＝岡田裕子

授業内での短期ワークショップや、各自の作品制作を通じて、美術作品を作ること、観ることの根本を考える授業です。現代の美術表現の現状も伝えていきます。

受講生ひとりひとりが、これからどう生きてゆこう、これからどう変化しよう、などを抱えています。そういった想いに対して、美学校の少人数制という利点を活かし、それぞれに丁寧に対話してゆきたいと思います。美術やその周辺領域に関しては、岡田裕子自身も表現形態や活動範囲が多岐にわたっておりますので、受講生各々に対して多様な可能性を提案しながら、実践的なアドバイスもできたらと考えています。

## 倉重迅 アーティスト

1975年神奈川県生まれ。フランス国立高等芸術大学マルセイユ（ボ・ザール）D.N.S.E.P 課程修了。シドニービエンナーレ、笑い展（森美術館）、one fine day（サムソン美術館、韓国）など、国内外の展覧会に参加。近年は、CMやPV、TVなど、アートとは異なる環境の中での映像制作にも携わっている。

## 田中偉一郎 現代美術家

1974年生まれ、うお座、B型、現代美術作家。2011年の個展「平和趣味」など、2000年以降、作品を発表しつづけている。「六本木クロッシング2007」（森美術館）にてオーディエンス賞を獲得。著書に『スーパーふるくブック』（ココヨ）、『やっつけメイキング』（美術出版社）がある。「フォークデュオ永田」「日にちの歌」「ノーマッセージマン」などの音楽パフォーマンスもしており、その活動は、広く、浅い。

## 岡田裕子 現代美術家

ビデオアート、写真、絵画、インスタレーション、パフォーマンスなど多岐にわたる表現を用いて、自らの実体験——恋愛、結婚、出産、子育てなど——を通したリアリティのある視点で、現代の社会へのメッセージ性の高い美術作品を制作。国内外の美術館、ギャラリー、オルタナティブスペース等にて展覧会多数。



講座WEBページ  
インタビューやレポートなどを  
掲載しています

# アンビカミング： シャドーフェミニズムの芸術実践

## 遠藤麻衣＋ゲスト

定員：10名  
授業日：隔週火曜日 19:00～22:00  
教程維持費：6,600円（通額）  
開催教室：本校 3F、オンライン  
（本校とオンラインで交互に開催します。）

この講座は、オープン講座として始めた「シャドーフェミニズムの芸術実践」を通年講座として展開したものです。

私は、これまでフェミニズムに関心を持って芸術的な実践をおこなってきました。なかでも、西洋中心主義的なネオリベリズムがとりこぼしてきた領域にあるフェミニズムに関心を持ってきました。そのフェミニズムとは、クィア理論家のジャック・ハルバースタムが指摘するような「ネガティブ」で「パッシヴ」な「シャドーフェミニズム」です。とはいえ、この系譜のフェミニズムと芸術実践の関連を学ぶ場が少ないとも感じてきました。

そこで、そういった場を作ってみようと思いついたのが、この講座の始まりです。

2010年代以降は、フェミニズムの第四の波として、それまでのフェミニズムに対するイメージの更新や読み直しがさかんに行われています。差別的な制度への関心が集まり、それが実際に是正されるといった変化を起しています。芸術祭や展覧会の主題として目にすることも増えました。現在のフェミニズムは、人々に好まれ流行するという側面ももっています。このような波のなかにも、この講座ではその波に乗るというよりは、むしろ波に溺れてみたり、波乱をもたらしたりするものとしてフェミニスト的な思考と実践を行っていきます。

授業構成は、理論編、実践編を交互に行い、理論編はオンライン開催、実践編は対面開催を予定しています。また、国内外のゲストを招いて、ワークショップやトークイベントも行い、創造性や知的な刺激が広がる場づくりを受講生とともに行っていきたいと考えています。

この講座でいう芸術実践は、発表形態等にこだわりはなく多様なあり方を想定しています。クィア・フェミニズム、ソーシヤルプラクティスとしての芸術に関心を寄せるさまざまな方の受講をお待ちしています。

遠藤麻衣

### 遠藤麻衣

1984年生まれ。おしゃべりやDIY、演技といった遊戯的な手法を用いる。民話や伝説といった史料、ティーン向けの漫画やファンフィクション、婚姻制度や表現規制に関する法律など幅広い対象の調査に基づき、クィア・フェミニスト的な実践を展開している。主な展覧会に、「燃ゆる想いに身を焼きながら」愛知県立芸術大学サテライトギャラリー SA・KURA（愛知、2021）、「フェミニズム」金沢 21 世紀美術館（石川、2021）など。2018年に丸山美佳と「Multiple Spirits（マルスピ）」を創刊。2021年東京芸術大学美術研究科博士後期課程修了。2022年文化庁新進芸術家海外研修制度でニューヨーク滞在。

### 過去のゲスト

陳逸飛（アーティスト・木版画 ZINE『刺紙（Prickly Paper）』メンバー）

GWO BEAN Collective 果邊（半開放工作室）  
櫻井郁也（舞踊家）

渡辺泰子（アーティスト・アーティストコレクティブ「Sabbatical Company」メンバー）

## 授業内容の一例

### ■ 実践

関心や相談事についておしゃべりする。

受講者自身が企画したゲスト・レクチャー／ワークショップを開催する。

過去のレクチャー／ワークショップの例

- ・漫画作話・作画理論についての話とワークショップ
- ・推手をみんなでやってみる
- ・木版画 ZINE『刺紙（Prickly Paper）』を中心に中国での芸術実践紹介
- ・舞踏の系譜についての話と即興的な動きをするワークショップ
- ・「GWO BEAN Collective」の活動紹介と香港の農業事情
- ・「Good Night Limpet」のラジオ収録

### ■ 理論

クィア・フェミニズムの理論を芸術実践との関わりをなかで整理し、咀嚼する。

過去のレクチャー例

- ・フェミニズム運動における「経験」って？
- ・クィアネス：「時間の速度」と「不安定性」
- ・ドラァグ：「演技」と「セルフケア」
- ・異種共同：「ネットワーク」と「物語」
- ・クィア・フェミニスト的な組織化とは
- ・アンチ・ソーシヤルな欲望、愚かで非対称な関係
- ・物語やイメージの転用：神話、歴史、少女マンガ
- ・動物／護身／回復：逃げる場所、戦う準備

参考文献の共有



講座 WEB ページ  
インタビューやレポートなどを  
掲載しています

# 実作講座 「演劇 似て非なるもの」 生西康典

定員：10名  
授業日：毎週金曜日 19:00～22:00  
教程維持費：25,300円（通額）  
※教程維持費は制作実費を含みます。  
開催教室：本校 3F + 本校 2F

始まりは何かをつくってみたいという静かな衝動です。  
でも、それが何なのか、何をどうしたら良いのか分からない。  
それを見つけるためには遠回りに思えても、手ぶらで集まって話す  
ということから始めたいと思います。  
創作に関するだけでなく、ささいなこと、雑多なこと。  
ゆっくりと話を続けているあいだに、自分にも相手にもつくりたい  
ものが少しずつ見えて来るはずで  
何かをつくるというのはゼロから始めるというわけではありません。  
つくりたいものは必ずそのひとの中に既にあるからです。  
でも自分自身のことはなかなか見えません。  
対話を通じて、「やってみたいこと」「やりたいこと」を一緒になっ  
て探り当てていきます。

やってみなければ見えてこないことも多いです。  
やりたいことが見つかったら、どうやって実現するか稽古を通じて  
試行錯誤を続けましょう。  
完璧なものなど出来なくても構いません。  
とにかく最後に修了公演というかたちで他者に見せてみます。  
そのことで自分の中にしかなかったものが、ひとつの作品として他  
者の目に触れることになります。  
自分では見つけられない大切なものを他者が見つけてくれることが  
あります。  
見つければそれを抱えて続けていくだけです。  
続けられれば続けるだけ、自分にとっての問題が見えてきます。  
その問いを実感を伴って解いていくことが出来るのは自分だけです。

あなたが話しを始めるのを待ってくれる人がいます。  
話を聞いてくれる人がいます。  
話し始めるのを一番待っているのは自分自身だと思います。  
まずは人と人が出会うところから始めたいと思います。

**生西康典**  
1968年生まれ。舞台やインスタレー  
ション、映像作品の演出などを手がけ  
る。作品がどのようなカタチのもので  
あっても基本にあるのは人とどのよう  
に協働していくか。自分自身を形作っ  
ていると信じられている殻がとけた時  
にはじめて現れる「その人」が見たい。  
その時「人」はありとあらゆるものと  
触れあっているだろう。近作は『ロン  
グショット』（2022、スタジオ空洞）、  
『抱えきれないたくさんの四季のため  
に』（2022、SCOOL）、『棒打ち 私だけが  
長生きするように』（2021、Tokyo Real  
Underground）。主なインスタレーショ  
ン作品に『おかえりなさい、うた Dusty  
Voices, Sound of Stars』（2010、東 京  
都写真美術館）。書籍：『芸術の授業  
BEHIND CREATIVITY』（中村寛 編、共著、  
弘文堂）。



講座WEBページ  
インタビューやレポートなどを  
掲載しています

# アートに何ができるのか ～哲学的視点でつみなおす ART ゼミ～ 荒谷大輔

定員：8名  
授業日：隔週火曜日 18:30～21:00  
教程維持費：6,600円（通額）  
開催教室：本校3F

アートとは何でしょう。ハイカルチャーと呼ばれたものは「天才」という概念を弄んだ19世紀以降の短い歴史の果てに、今や絶滅危惧種として残っているにすぎません。その代替となったサブカルチャーも、資本主義社会の枠組みを前提にした価値の共有手段になっています。資本主義の狂騒の中で「神」として祀り上げられる芸術家のあり方も、しかし、資本主義の枠組み自体が軋む中で、すり減らされながら余命を数えている段階にあるように思われます。

この講座では、まず現在アートがおかれている社会的な状況を振り返って考えながら「アート」と呼ばれるものの本質を明らかにします。参加者が知らないうちに身につけている価値観の前提を問い直しつつ、それでも直観的にはおそらく各人が捉えているアートの本質を、ディスカッションの中で明らかにしていければと思います。

その上で「アートができること」を、私たちが日常を営む生活経済圏をまるごと問い直す中で、実践的に探求していきます。それが、この講座の最終的な目標です。「実践的」というのが非常に重要なところで、参加者（とその周辺の人々）によって実際に、新しい経済圏を作ることが目指されます。美学校という場所はそもそも、そのために作られたのではないかと僕は思っているのですが、校長には確認してません。

これまで積み重ねられてきた数々の試みの上にすでに成立している場のちからを借りながら、今まさにこの時代に実践的哲学者としてできることを探っていきたいと思います。

みなさまのご参加をお待ちしています。

---

## 授業内容

---

講義とディスカッションを繰り返す中で、講師を含めた参加者が無意識のうちに前提にしている価値観を浮き上がらせていき、それが凝り固まっている場合にはほぐしていきます。否定はしません。マッサージします。深呼吸する余裕ができれば、コリは自然にほぐれていくかと思えます。身体性大事。もしかしたら参加者の希望に応じて、実際に身体を動かすワークをするかもしれません。

そんな中で、現代の人々の考え方を無意識のうちに規定している歴史的な構造を明らかにし、現状の資本主義社会を越える新しい経済圏の可能性を提案します。講師が近年取り組んでいるブロックチェーン技術を用いた透明性の高い信頼経済圏の提案です。これだけだと何が何やら分からないとは思いますが、講義の中で小出しにしていければと思います。これはあくまで提案で、参加者の方々の身体を拘束するものにならないよう十分に気をつけるつもりです。が、少なくとも現行社会の「当たり前」を本質的なところから見直すきっかけにはなるかと思っています。

そうして最終的には、何らかのかたちで「実践」ができればと思います。成り行き次第のところもありますが、その「実践」はアート作品を作ることかもしれませんし、演劇やダンスを上演することになるかもしれません。あるいは、何らかの信頼経済圏を作ることになるかもしれません。

## 荒谷大輔

慶應義塾大学文学部教授。専門は哲学／倫理学。主な著書に『資本主義に出口はあるか』（講談社現代新書）、『ラカンの哲学：哲学の実践としての精神分析』（講談社メチエ）、『「経済」の哲学：ナルシスの危機を越えて』（せりか書房）、『西田幾多郎：歴史の論理学』（講談社）、『ドゥルーズ／ガタリの現在』（共著、平凡社）など。演劇の脚本を書いたり、ダンス作品のドラマトゥルクを担当したり、自分で暗黒舞踏を踊ったりしています（<https://bigakko.jp/event/2021/engeki-shuryokoen>）。



講座WEBページ  
インタビューやレポートなどを  
掲載しています

# Q & A

## ▼入学試験はありますか？

ありません。申込みをして学費を納入すれば、誰でも入れます。年齢や学歴による制限もありません。

## ▼高校生ですが入れますか？

入れます。不安があればご相談ください。

## ▼未経験者でも大丈夫ですか？

大丈夫です。どの講座でも、経験者と未経験者が混じって受講していますが、原則的に未経験者を前提として授業を進めていきます。ただ音楽系の一部教程では、経験者を前提としている講座がありますので、ご注意ください。その場合は、講座のページに明記してあります。

## ▼学校見学会や説明会はありますか？

あります。毎年冬から春にかけて月3回程度の頻度で行っています。見学会・説明会以外にも、個別の学校見学や入学相談など随時受け付けていますので、ご希望の方は、気軽にお問い合わせください。

## ▼申込み時期はいつですか？

5月期（新年度）の募集は、前年の12月後半から、10月期（編入）の募集は、8月初旬頃から開始しています。申込み締切りは、5月期は3月末、10月期は9月末です。先着順ですので、お早めにお申込みください。

## ▼1クラスの平均人数を教えてください？

少ないところで2,3人から、多くても10人程度です。楽理基礎科のみ15人程で授業を行っています。

## ▼課題はどれくらい出ますか？

講座によって異なりますが、社会人の方も多く来ますので、そういった方々が時間的にこなせないような量の課題が出ることはありません。

## ▼授業見学はできますか？

できます。連絡なしでいきなり授業見学に来ていただいても構いませんが、学外で授業を行っている場合もあるので、念のため事前にお問い合わせください。オンライン教程の場合は10ページの「4）オンライン授業の見学について」を確認の上ご参加ください。

## ▼修了試験はありますか？

ありません。講座の修了について、試験や単位、修了制作などの制限が課されている講座はありません。

## ▼授業以外の時間で教室は使えますか？

使えます。午前中は授業がないので、いつでも使えます。午後と夜は、授業が入っていない時であれば使えます。使用目的としては、制作や受講生同士のミーティングなどが多いですが、たまに飲み会なども開かれているようです。使い方わからないことがあれば、事務局スタッフに聞いてください。

## ▼どんな人が来ていますか？年齢、職業、男女比を教えてください。

老若男女様々な人が来ています。高校卒業後に来る人、大学（美大生だけでなく一般大生も）や専門学校に通いながら来る人、大学や専門学校を卒業して来る人、フリーター、社会人、会社を辞めて来る人、主婦、留学生など年齢や職業は様々です。年齢層は、美術系の講座は20代～30代が多く、音楽系の講座は30代が多いです。男女比は、美術系の講座は、6:4、7:3ぐらいで女性が多く、音楽系の講座は、8:2ぐらいで男性が多いですが、少人数のため年によって大きく変わることがあります。

## ▼修了生はどんな活動をしていますか？

本当に様々な仕事、活動をしています。中には、著名なアーティスト、イラストレーター、デザイナー、編集者、漫画家（etc.）などになった人もいますが、表に名前が出ない人でも面白い活動をしている人、いい作品を作り続けている人は数多くいます。また、美学校を出てから何かになるのではなく、既にアーティストやデザイナー、イラストレーター、ミュージシャン、編集者（etc.）として活動している人たちも来ています。

## ▼資格が取れたり就職できたりしますか？

資格を取るための講座は開講していません。就職の斡旋もしていません。資格や職を求めてこの学校に来る人はいないようです。

## ▼子どものクラスはありますか？

あります。NPO法人 AESS 主催で「こどものアトリエ」という講座を小学生対象で開催しています。詳細は美学校のWEBをご覧ください。

## 美学校 本校3階 見取り図

美学校は、神田神保町の路地にある貸しビルの3階にあります。1970年にこの場所に越してきてから50年が経ちました。歴史を経て作り上げられてきた美学校の内部をご紹介します。



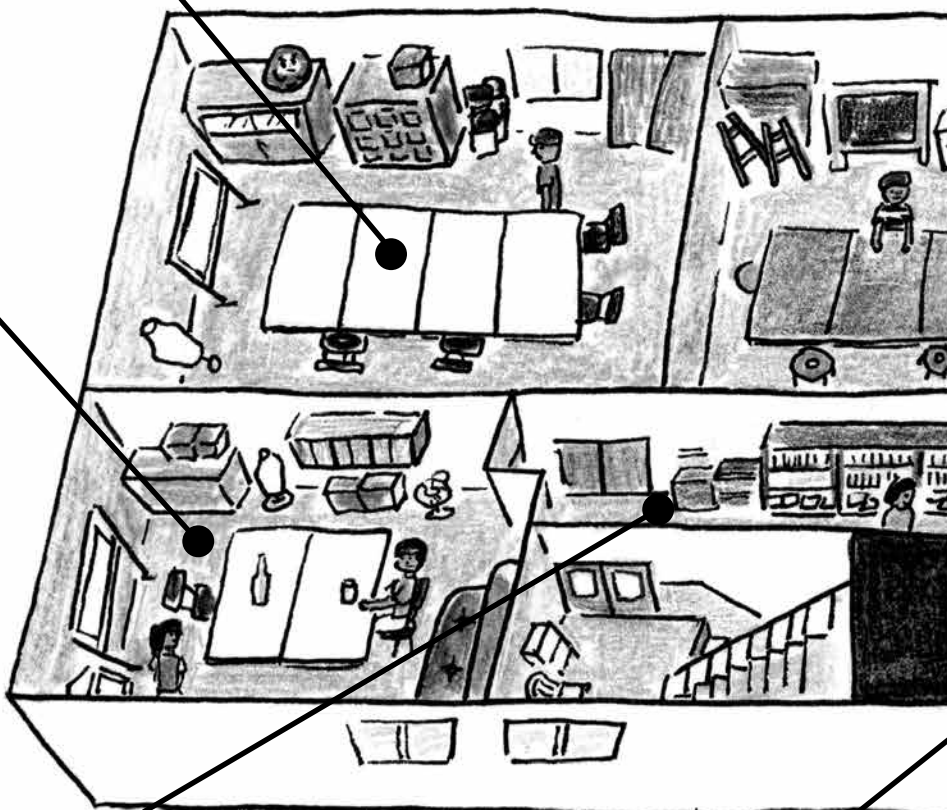
### 大教場

通常の授業で使用しています。普段は合板を5枚並べたテーブルを囲んで授業を行っています。土日は、テーブルを片付けて、イベントやワークショップを開催することもあります。



### 小教場

講義系の授業が行われていたり、当校代表の藤川が本を読んでいたたりします。相談事があれば藤川へ。入学相談から人生相談まで色々な話を聞いてくれます。授業時以外は開放しているので、気軽に入ってみてください。



### 廊下

展覧会やイベントのチラシやポスターがはられていたり、本棚には1970年代からの『ガロ』や『美術手帖』など貴重な本があったりします。本棚の一角は棚ギャラリーという小さなギャラリーがあります。チラシは自由に置いてください。



### 流し

歴史を経て、調理器具や食器が自然と揃いました。冬になるとみんなで鍋を作ったりする講座もあるようです。

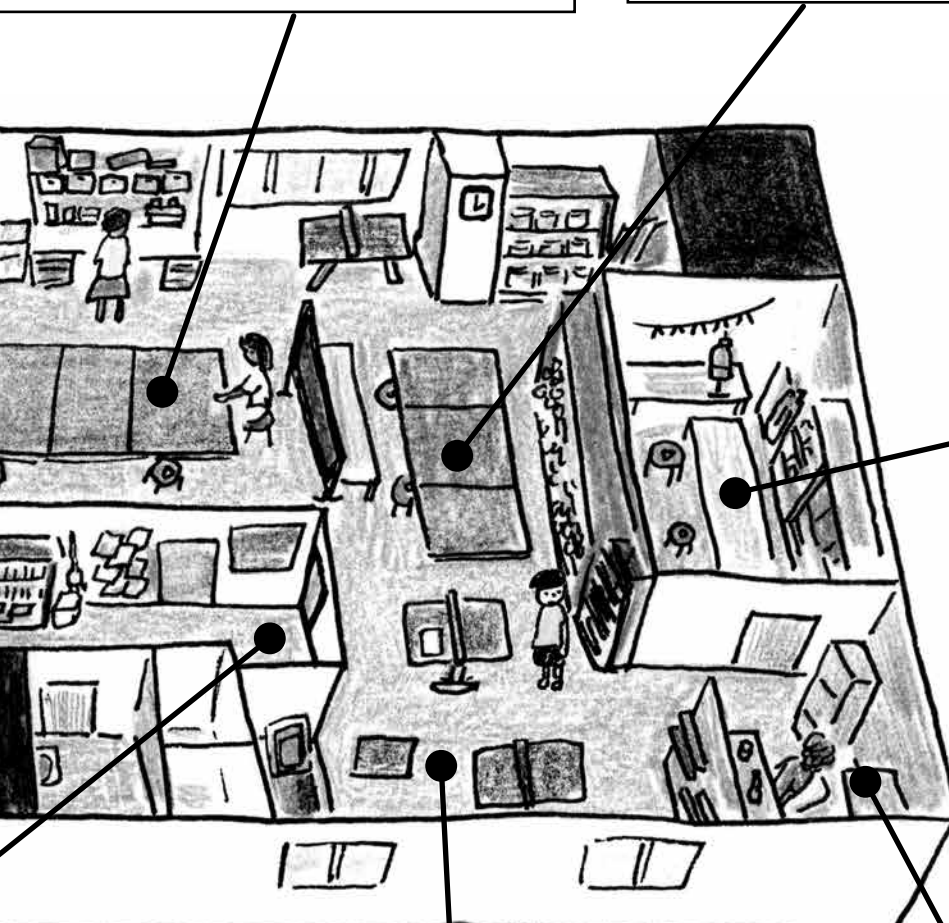
## 中教場

大教場とほぼ同じ広さの教場です。こちらも通常の授業で使用しています。手作りの大きなライトテーブルや版画の製版用の露光機などがあります。



## 自習スペース

自習や課題の制作に使われているスペースです。長年美術学校に通っている人もここで作業しているので、スペースの使用でわからないことがあれば聞いてください。



## 暗室

写真工場の授業で使用している暗室です。写真工場の受講生はいつでも使用できます。



## 水場

石版画で使う石版の石研ぎやシルクスクリーンの製版、銅版の腐食、アクアチントなどもここでを行っています。



## 事務局

運営スタッフがいる部屋です。入学手続きやご質問はこちらどうぞ。

イラスト：是澤ゆうこ

## 美学校 本校 2階

2階教場ではオンラインで開講している音楽系講座の配信や、対面講座を開催しています。  
共有スペースは、受講生なら制作や休憩などで自由に使うことができます。

2階教場



2階共有スペース



## 美学校 スタジオ

美学校 本校から徒歩3,4分ほどのところにあります。

現役受講生と修了1年目は無料で、修了2年目以降は有料で利用することができます。

用途は展覧会、イベント、公演、撮影、稽古など様々です。展覧会やイベントなどは事務局スタッフのサポートを得ることも可能です。





# ハラスメントに関する基本方針

1969年の開校以来、受講生の国籍・年齢・性別・学歴不問を掲げてきた美学校は、いかなるハラスメントも容認しません。多様な価値観の人が集う場として、すべての受講生・講師・スタッフが、一人の人間として尊重されるよう、ハラスメント防止に努め、万が一かかる事態が生じた場合には、適正に対処します。

## 1. ハラスメントの定義

当校で起こりやすいハラスメントとして、以下の2つについて定義と事例を示します。下記以外にも様々なハラスメントが存在し、複数のハラスメントが絡み合って生じる場合もあります。

### ・セクシュアル・ハラスメント

相手の意に反する性的な言動によって相手に不快感や不利益を与え、就労や就学環境を損なう行為のことです。セクシュアル・ハラスメントにあたるかどうかの判断は、その言動を受けた本人が不快に思うか否かによります。

スリーサイズなどの身体的特徴を話題にしたり、性的な経験について質問したりする。「男のくせに」「女のくせに」といった、性別で差別しようとする意識に基づいた発言をする。(ジェンダー・ハラスメントとも呼びます。) 性的指向や性自認をからかいの対象とする。ヌード写真などをわざと見せたりする。個人的な指導と引き換えに性的な関係を要求したり、執拗に食事や酒席に誘ったりする。要求を拒否されたために、受講生を展示に参加させないなどの不利益を与える。など。

### ・アカデミック・ハラスメント

講師等が、意識的か無意識的かを問わず、自身の優位な立場や権限を不当に利用し、受講生の受講意欲や受講環境を著しく低下させる言動や指導のことです。

講義上必要のない授業の手伝いや私的な雑用を押し付け、断られたら叱責する。特定の受講生を他の受講生と差別して、必要以上に厳しい課題を課す。指導の範囲を超えて人格を否定する言動や脅迫的な言動を行う。求められた指導を正当な理由なく拒否する。など

## 2. ハラスメントを起こさないために

何を不快に思うかは個人によって異なります。ハラスメントに当たるか判断がつかないときは、自分の家族や友人に同様の言動が向けられた場合を想像してください。また、講師と受講生の間に、NOと言えない力関係が図らずも存在していないか意識することを日頃から心がけてください。

自分の家族や友人に同じ事が言えるか、できるか。自分の家族や友人が同じ事を言われたら、されたらどうか。家族や友人に見られていても同じことが言えるか、できるか。

## 3. 被害に遭ったら

不快だと感じる言動を受けたら、我慢せずにそのことを相手に伝えてください。相手が不快感をもたらしていると感じていない場合もあるので、不快であることを口頭または文書で伝えることで、解決可能な場合もあります。その場で伝えにくい場合や、抗議をしても言動が改まらない場合は、速やかに事務局に相談してください。必要に応じて外部機関と連携しながら問題解決に努めます。その場で拒否できなかった自分が悪いのではないかと自分を責めたり、他の受講生に迷惑がかかるのではないかとといった心配をする必要はありません。相談や情報提供にあたり、相談者や情報提供者のプライバシーは保護されます。また、相談や情報提供をしたことによる、不利益な取り扱いはいりません。なお、ハラスメント行為を受けたら、いつ、どこで、どのようなことを言われたか・されたかといった記録をとっておくと、問題解決時に役立ちます。

【相談窓口】 美学校 本校・事務局

TEL：03-3262-2529 (平日 13:00～18:00) メール：bigakko@tokyo.email.ne.jp

## 4. ハラスメント防止のための啓発

あらゆるハラスメントの防止のため、本指針を講師・受講生に配布するほか、希望者には映像資料の貸出や講習の案内を行うなどして周知、啓発に努めます。

# プライバシーポリシー

有限会社美学校（以下「当社」といいます。）は、当社の提供するサービスにおける、お客様の個人情報の取扱いについて、以下のとおりプライバシーポリシーを定め、その適正な取扱いに努めます。

## 1. 個人情報の取得

当社は、お客様に当社のサービスをご利用いただく場合や、サービスに関する情報を提供するために、お客様の氏名、性別、住所、電話番号、メールアドレス等の個人情報をご提供いただく場合がございます。

## 2. 個人情報の利用目的

当社は、お客様からご提供いただいた個人情報を以下の目的のために利用します。

- ・入校受付、本人確認および学籍作成のため
- ・学費のクレジットカード決済のため
- ・オープン講座、公開授業、ワークショップ、その他各種イベントの予約受付等の対応のため
- ・学校連絡および授業連絡のため
- ・資料、募集要項の発送のため
- ・問い合わせへの回答のため
- ・見学、受講相談の対応のため
- ・Eメールマガジンの配信のため
- ・個人を特定しない範囲での統計的な利用のため
- ・上記の目的に付随する利用目的のため

## 3. 個人情報の第三者への提供

ご提供いただいた個人情報は、個人情報保護法その他の法令に基づき開示が認められる場合を除くほか、あらかじめお客様の同意を得ないで、第三者に提供しません。但し、次に掲げる場合はこの限りではありません。

3-1. 当社が利用目的の達成に必要な範囲内において個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合

3-2. 合併その他の事由による事業の承継に伴って個人情報が提供される場合

3-3. 国の機関もしくは地方公共団体またはその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、お客様の同意を得ることによって当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがある場合

3-4. その他、個人情報保護法その他の法令で認められる場合

## 4. 個人情報の開示

当社は、お客様から、個人情報保護法の定めに基づき個人情報の開示を求められたときは、お客様ご本人からのご請求であることを確認の上で、お客様に対し、遅滞なく開示を行います（当該個人情報が存在しないときにはその旨を通知いたします。）。但し、個人情報保護法その他の法令により、当社が開示の義務を負わない場合は、この限りではありません。

## 5. 個人情報の訂正および利用停止等

5-1. 当社は、お客様から、（1）個人情報が真実でないという理由によって個人情報保護法の定めに基づきその内容の訂正を求められた場合、及び（2）あらかじめ公表された利用目的の範囲を超えて取り扱われているという理由または偽りその他不正の手段により収集されたものであるという理由により、個人情報保護法の定めに基づきその利用の停止を求められた場合には、お客様ご本人からのご請求であることを確認の上で遅滞なく必要な調査を行い、その結果に基づき、個人情報の内容の訂正または利用停止を行い、その旨をお客様に通知します。なお、合理的な理由に基づいて訂正または利用停止を行わない旨の決定をしたときは、お客様に対しその旨を通知いたします。

5-2. 当社は、お客様から、お客様の個人情報について消去を求められた場合、当社が当該請求に応じる必要があると判断した場合は、お客様ご本人からのご請求であることを確認の上で、個人情報の消去を行い、その旨をお客様に通知します。その場合、お客様が抹消された個人情報に基づいて利用されていた当社の提供するサービスは停止され、そのサービスのお客様の利用資格は失われます。

5-3. 個人情報保護法その他の法令により、当社が訂正等または利用停止等の義務を負わない場合は、前2項の規定は適用されません。

## 6. お問い合わせ

当社の個人情報の取扱いに関するお問い合わせは、下記にご連絡ください。

有限会社 美学校

住 所：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-20 第2富士ビル3F

T E L：03-3262-2529（平日13:00～18:00）

メール：bigakko@tokyo.email.ne.jp

A series of horizontal dotted lines for writing, spanning the width of the page.

## 美学校 本校／事務局

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-20 第2富士ビル 3F

TEL. 03-3262-2529 (受付時間：平日 13:00～18:00)

E-mail. bigakko@tokyo.email.ne.jp

## 美学校 スタジオ

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-6 宮川ビル 1F (袋小路奥)

※郵便ポストはありません。郵便物は本校にお送りください。

## 美学校 岡山校

〒700-0011 岡山県岡山市北区学南町 2-7-4

LIVE HOUSE PEPPER LAND 内

<https://bigakko.jp>

